

会議報告書

令和3年1月7日

| | | | |
|-----|--------|-----|------|
| 部 会 | 記念事業部会 | 部会長 | 石嶋政博 |
|-----|--------|-----|------|

(1) 概要

| | |
|-----|--|
| 議 題 | 「(仮称) 峰高エリア 100」整備のWS開催に関するルーツスタッフとの面談協議 |
| 日 時 | 令和2年12月25日・令和3年1月6日 午前11時～午後0時30分 |
| 場 所 | ルーツ (京丹後市未来チャレンジ交流センター) |
| 出席者 | 石嶋・田崎・本城 (1/6)・川渕 (12/25)・稲本・能勢・小林 (1/6)・坂田・大垣 |

(2) 会議内容

- ・12/11の学校との協議により、ワークショップの生徒を生徒会役員で2月上旬の水・金と概略が決まったので、WSの運営で生徒の思いを引き出せるファシリテーターとして依頼承諾いただいていた丹後暮らし探求社の小林朝子さんと詳細協議をお願いしたところ、ルーツ (京丹後市未来チャレンジ交流センター) スタッフと一緒に事前協議をしましょうと提案され、12月25日と2回目の1月6日に協議を行った。
- ・ルーツは、峰高で丹後地域学推進活動をする能勢ゆきさん (小林さんと市総合計画委員会で高校生の思いを網高生のWS運営経験があり) がスタッフで11月末に30番街に開設され、峰高生が立ち寄って生徒の自主性を引き出している様々な活動を展開し始めている。
- ・面談参加者の坂田氏は丹後暮らし探求社代表理事、大垣氏はU設計室代表で8月にエリア100想定図面を小林さんも同席して依頼した経過がある
- ・12/25は初めての面談であることから参加者の自己紹介と記念事業として、エリア100に関するWSの開催意義などざっくりと意見交換となる
- ・1/6は生徒とのWS運営の具体的な手法 (生徒の意識付けや自主的なアイデアのさせ方) などを協議

(3) 意見交換内容

12/25 意見交換

- 100周年の記念事業として、「エリア100」案が積みあがった経過の概要を説明。部会で家庭経営室の改造内容を検討・決定するにあたりエリアを利用する生徒の思いを活かすWSの開催すべきとなった経過 (学校との協議内容や生徒からの事業アンケート結果などを含め) 概要報告
- WSの開催を同窓生へオンラインで発信して共感づくりなど記念事業の位置づけを効果的に
- 整備内容や整備費などを募金との関連付けにゲーム感覚 (募金総額による整備内容の段階表示)
- 学校施設であることから、学校教育の中での利用や生徒の活動の場となることは求められる
- エリアの運営を生徒の自主性を持って考えてもらうようにする
- 与えられたスペースという印象であると利活用の幅が広がらないのでは
- 教育施設であることから、整備寄付となることから事前に府教委との協議調整にハード整備の内容や費用額などが必要
- 整備工事は2022年の夏休み中と限定され、11月12日に記念式典後にエリアの披露の予定

1/6 意見交換

- 学校らのWSへの出席は在校生の生徒会役員と提案されており、ゼロからのWSでは意見が出ないので事前資料の提供を依頼されている
- WSの運営には生徒の「やろう」という意気込みを引き出すことが必要
- 短時間のWSなので、第1段階は簡単・単純な設問とした目的とし、その内容に基づく3D画像案のプレゼンを第2段階のWSとして完成案を引き出す手法ではどうか
- 生徒が自主性を持って思いを出すようにするには、エリアの運営を生徒自身で考えてもらうことが必要では
- 同窓会として、エリアの整備意義は生徒が利活用してもらうこと
- 生徒会役員がWSの参加者ではあるが、ルーツに立ち寄る生徒さんにもアイデアなど提案してもらい、生徒の参加を広げる手法 (壁塗り作業ができるなど) もありでは
- 在校生にとっての家庭経営室の評価 (ここで何がしたいか) など校舎内の各施設と比較しながら

考えてもらうことも必要

○生徒として家庭経営室をどう使いたいか→使うには何が必要→完了後にどう使うかを段階的に考えるなど生徒自身の参加意識を持ってもらうことが大事

○生徒への資料として、同窓会からの整備内容案を示すのではなく同窓会が生徒へ記念事業として「やってやりたいこと・思い」を書き込んだ書面のほうが自主性を引き出せるのでは。

○WS 当日に初めて生徒に話すのではなく事前に面識や WS の目的などを伝える機会を待ったほうがスムーズに進められる。能勢さんが校舎内で活動しているので生徒会役員さんとの事前面談を能勢さんを通じてお願いすることとなる（学校側から生徒会役員へ伝えてもらうこととなる）

○WS の会場は、整備予定の家庭経営室で室内や外の景色を眺めながら話すことが必要

※WS 開催と整備案への助言提言をいただけるようになったそれぞれの方の協力へのお礼については、ルーツ活動の一環として特には求めない旨を確認。但し U 設計室での 3D 画像などプレゼン資料作成経費は事後協議となる。

※1 月の部会で同窓会が記念事業として「生徒へやってやりたいこと・こうありき」などの意気込みを箇条書きにした資料が生徒へのアピール（生徒が自主性を持って様々なエリアについてアイデアを出す安心感につながる）となることから、部会員の思いを引き出すこととする。

(4) 備考